

おかげさまで 900号!

あかるいまち21

No.900号 2016年3月15日 組織部 TEL082-532-1264

	3月累計	4月～2月
組合員ふやし	43人	1,281人
出資金ふやし	839万円	1億3,044万円
純増	601万円	6,442万円

町内会 + 老人会 + 生協 = 地域まるごと学習会



中区南支部では、3月9日に江波西一丁目の町内会・老人会と共催で介護保険学習会を開催しました。江波地域包括支援センターからセンター長を含め3人を講師役にお招きし、高齢者にとって困った時に頼りになる地域包括支援センターの役割や介護保険を申請する方法などを具体的にお話しいただきました。また、座ってできるストレッチや認知症予防の体操も

楽しく実践しました。この学習会は、25人が参加され、副支部長が「認知症の家族が賠償責任を負わない判決が出てホッとした反面、地域で支え合っていくことの大切さを改めて考えました」と結んで終了しました。

もっと介護のことを学びたい！ 介護保険学習会 最終回

中央ブロック主催の介護保険学習会は、3月10日に3回シリーズの最後の講座「介護保険の利用の仕方」が行われました。中央居宅介護支援センターの岡田ケアマネージャーを講師に迎え、19名の参加で、たくさんの質問も出ました。介護保険の利用の仕方として「相談」「計画」「利用」「モニタリング（評価）」のそれぞれの場面でどんな風に介護保険を利用したらいいかについてお話していただきました。「介護保険の認定調査を受ける時には事前に困っていることをまとめておくといいですよ」と助言をいただいたり、「介護保険の申請は30日くらいかかるので、仮のプランで申請した日から利用することができます。実際に申請日に行ってみると排泄物まみれになっていて、家族と同居なのに虐待を受けていることが明らかだったので、すぐヘルパー



派遣を開始した事例もあります」など、介護保険の現場におられるケアマネージャーさんだからこそ話せる内容が盛りだくさんでした。参加者からは「3回ではまだ足りない、もっと学習会を開いてほしい」などの感想・ご要望が寄せられました。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

